

プランクトン調査結果のお知らせ

本日、野見湾のプランクトン調査を行いましたので結果をお知らせします。

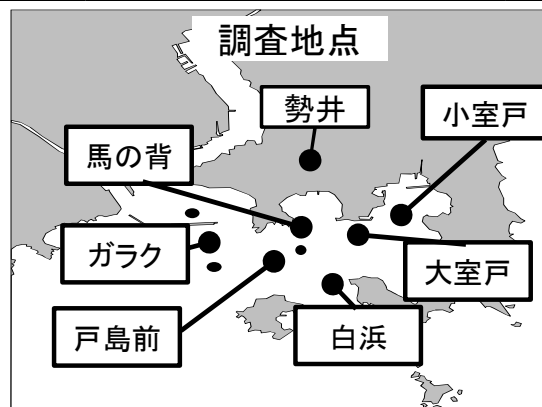
野見湾の広範囲で海水の着色が確認されました。
検鏡の結果、有毒種のアレキサンドリウム属が最高で160cells/ml確認されました。
詳細な種の同定を行ったところ、平成29年に養殖魚の被害の原因となった種類であるアレキサンドリウム・レーイが多数含まれておりました。餌止めの実施や網換え等の作業の延期など赤潮被害軽減策を実行してください

今後、増殖拡大する可能性がありますので、慎重な養殖管理をお願いいたします。

海や養殖魚の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

表 1 検鏡結果 (cells/ml)

		アレキサンドリウム属	アカシオ・サングイネア
勢井	0m	140	25
	2m	80	150
	5m	110	210
馬の背	0m	130	120
	2m	34	190
	5m	20	90
大室戸	0m	9	25
	2m	19	80
	5m	110	70
ガラク	0m	4	4
	2m	9	6
	5m	0	0
白浜	0m	70	100
	2m	60	280
	5m	70	170
小室戸	0m	130	390
	2m	80	350
	5m	37	56
戸島前 (着色部)	1.5m	160	600
	1.8m	80	350



漁業被害が想定される細胞密度
 ・アレキサンドリウム属(カテネラ)：500～cells/ml(貝の毒化)